

しのい

「水」と「りんご」と「うどん」のまち

散歩旅

美しい大自然の土地と緑と清水に
恵まれたこのまちは、
時が止まったかのような場所もあれば、
伝統を受け継ぎ進化を
続けるものもある。

世界遺産「日光」の
玄関口にも位置し、
自然の眺めが清らかで美しい、
水とりんごとうどんのまち、
そんな「篠井地区」を知る旅へ。

— ツアー開催日 —

10月25日 **土**



□ 予 告 □

11/22(土)
しのい散歩旅

12/20(土)
年越しそば教室

□ モニターツアー □

— 料 金 —

大人 2,000円 (税込)

小人 1,500円 (税込)

※幼児についてはお問合せください。

昼食付

— 募集人員 —

20名 (最少催行
人数10名)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

— 集合場所 —

8:20 JR宇都宮駅 西口

9:00 道の駅 うつのみや

ろまんちっく村 第2駐車場

— 行程 —

日光→製麺所見学→手打ちうどん榛名→

東海寺→茶屋場→りんご園→原坪屋台→

八坂神社→ろまんちっく村

お問合せ・申込みは.....

TEL.028(689)8782 FAX.028(665)8678

本社営業所▶受付時間/10:00~18:00

〒321-2118 宇都宮市新里町丙254番地
(道の駅うつのみやろまんちっく村内)
栃木県知事登録旅行業第2-677号
国内旅行業務取扱管理者:原田和之

モニター
ツアー



● 旅行企画・実施 ●

えにしトラベル
ENISHI TRAVEL

協力:篠井地区ゆたかなまちづくり協議会

しのい散歩旅

「水」と「りんご」と「うどん」のまち
「篠井地区」の魅力をご紹介します

篠井の「りんご」の発足を思い出し一言書き添えます。
父が仲間3・4人と初めたのがきっかけです。その中の1人が福島県から成木のりんごの木1・2本を持って来て、(昭和三十年前後)定植して1〜2年で実が着き、「りんごの實」7・8割が収穫できました。それが各自自信を持つ事になり、昭和三十三年頃から少ない面積ではあるが、仲間が植え始めたのが、「篠井のりんご」の元祖と言えます。

当時のりんごの木は「スタンダード」という木で、収穫するまでには3〜4年くらいかかり、品種も悪く、酸味が強く、甘みが少なかったです。
その後昭和五十年、前後から品種も改良され、歪化栽培と言う栽培法で普及されました。生産者も増加し、現在では20名弱の生産者で宇都宮「篠井のりんご」で一躍名声を博し、本場青森りんごに劣らぬ技術の向上とともに、品質も最高のりんごが収穫されるようになりました。

現在、篠井の特産物と言えば「りんご」と言う代名詞で呼ばれるまでに知れ渡り、之も一重に当時の3・4人の方々のご尽力と感謝しております。

これからも宇都宮、篠井のりんご発展を期待するものであります。
生産者一同「りんごの旬」には篠井のりんご狩りにお越しくださいます様心からお待ちしております。



『りんご随想記』

村田福三郎書

篠井りんご農園MAP



一行程

10月25日 土

〇8:20

JR 宇都宮駅 西口

〇9:00

道の駅うつのみや
ろまんちっく村
出発

〇9:40

とちぎのふるさと
田園風景百選
日光「高麗神社」



今も現役で
「杉線香」の粉を
挽く大室水車

〇12:10

石臼ひき体験
【昼食】
「手打ちうどん様名」
地元の新鮮な野菜
かぼちゃ、青じそなどを
使った彩りうどんをご堪能。



〇11:15

昔ながらの製法
田中製麺所
見学
(うどん・そば)



〇10:50

明治 35 年完成
田川を利用した
旧石那田発電所
取水口



〇13:20

様名山からの湧き水
東海寺



〇14:10

日光への
旅人の
お休み処
「茶屋場」



〇15:00

「ファミリーしばた」
りんご狩り



〇17:00

道の駅うつのみや
ろまんちっく村 到着



湯処めぐり
温泉券付

〇16:20

八坂神社



〇15:50

市指定文化財
原坪の屋台

